



2023年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月12日

上場会社名 ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6090 URL <https://humanmetabolome.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋爪 克仁
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート統括本部長 (氏名) 大畑 恭宏 TEL 03-3551-2180
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第3四半期の連結業績（2022年7月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第3四半期	1,075	6.4	262	△2.2	265	△12.3	228	△18.7
2022年6月期第3四半期	1,010	9.1	268	174.9	302	155.2	281	200.1

(注) 包括利益 2023年6月期第3四半期 222百万円 (△16.9%) 2022年6月期第3四半期 267百万円 (194.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第3四半期	38.71	—
2022年6月期第3四半期	47.64	47.63

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第3四半期	2,252	1,712	72.6
2022年6月期	2,068	1,486	68.1

(参考) 自己資本 2023年6月期第3四半期 1,636百万円 2022年6月期 1,407百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年6月期	—	0.00	—		
2023年6月期（予想）				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2023年6月期の連結業績予想（2022年7月1日～2023年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,300	6.3	240	25.6	260	2.7	270	0.8	45.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期3Q	5,907,175株	2022年6月期	5,900,300株
② 期末自己株式数	2023年6月期3Q	144株	2022年6月期	112株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期3Q	5,904,222株	2022年6月期3Q	5,900,188株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社の決算補足説明資料は、決算発表後遅滞なくTDnetで開示するとともに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
生産、受注販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染状況については徐々に改善が見られ、経済活動の活性化が期待される一方、日米金利差に起因する円安、資源価格の高止まりに伴う国内物価の高騰、世界景気の減速懸念等により、依然として先行きは不透明な状況となっております。

当社グループが属するライフサイエンス業界においては、新型コロナウイルス感染症対策としての治療薬・ワクチン等の開発に加え、免疫力向上等の感染症予防を促進するための機能性表示食品開発等、健康管理へのニーズの高まりを受けた研究開発の増加傾向が継続しています。

このような状況の中、当社グループでは代謝物の高感度網羅解析サービスの営業活動を精力的に行うことで先端研究開発支援事業の受注拡大を図るとともに、研究開発費を除く一般管理費の削減に引き続き取り組みました。研究開発においては、引き続き大うつ病性障害（以下「うつ病」といいます。）バイオマーカーの事業化やヘルスケア・ソリューション事業における新規サービス開発のための研究開発等を推進しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,075,281千円（前年同期比6.4%増）と増収となりました。一方ヘルスケア・ソリューション事業での研究開発費が増加したこと等により営業利益は262,931千円（前年同期比2.2%減）となりました。また前第3四半期連結累計期間に計上していた補助金収入が当期は第4四半期連結累計期間に計上予定であることに加えて、為替差益の減少等により経常利益は265,651千円（前年同期比12.3%減）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、228,574千円（前年同期比18.7%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 先端研究開発支援事業

当事業セグメントにおいては、国内外ともに代謝物の高感度網羅解析サービスや、提供メニュー拡大を目的に提携先から導入したその他オミクス受託サービスの販売が堅調に推移し、アカデミア、製薬分野を中心として売上が増加しました。また欧米での代謝物解析受託サービス売上が大きく増加いたしました。提携先から導入販売した受託サービスの国内での売上増加等に伴い、売上総利益率はやや低下しましたが、一般管理費の削減にも努めた結果、増収増益となりました。

この結果、売上高は1,045,761千円（前年同期比3.8%増）、全社費用配賦後セグメント利益は373,253千円（前年同期比4.1%増）となりました。

② ヘルスケア・ソリューション事業

当事業セグメントにおいては、うつ病バイオマーカーの共同開発を進めるとともに、皮膚ガス測定サービスの拡販、エクソソーム精製カラムの拡販を推進しました。またヘルスケア関連企業向けの新規事業の研究開発を推進し、研究開発費が増加いたしました。

この結果、売上高は29,520千円（前年同期比990.8%増）、全社費用配賦後セグメント損失は110,321千円（前年同期は89,714千円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,873,471千円となり、前連結会計年度末に比べ131,503千円増加しました。これは、第3四半期連結会計期間に売上が集中することにより売掛金が162,371千円増加したこと等によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は379,394千円となり、前連結会計年度末に比べ52,633千円増加しました。これは設備投資に伴い工具、器具及び備品が93,849千円増加したこと等によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は509,301千円となり、前連結会計年度末に比べ36,977千円減少しました。これは賞与引当金が21,679千円、未払金が20,799千円減少したこと等によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は31,229千円となり、前連結会計年度末に比べ4,642千円減少しました。これは、リース債務が4,659千円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,712,334千円となり、前連結会計年度末に比べ225,757千円増加しました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益228,574千円の計上等によるものであります。

なお、2022年9月22日に開催された株主総会において、資本準備金の額の減少及び剰余金の処分の件が決議されたため、会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金の額を減少し、その他資本剰余金に振替えるとともに、会社法第452条の規定に基づき、振替後のその他資本剰余金を繰越利益剰余金へ振替える処理を、第1四半期連結会計期間において実施しております。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結業績は、予想の範囲内で推移しております。また、当社グループの経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通しにつきましても、現在のところ重要な変更事項はありません。そのため、通期の業績予想につきましては、2022年8月10日公表から変更はございません。

新型コロナウイルス感染症の通期業績に与える影響につきましても、現在の政府の感染対策方針に基づき経済優先の施策が続くのであれば影響は軽微と考えておりますが、今後の新型コロナウイルス感染症の更なる拡大を考慮し、業績への影響については引き続き注視してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,504,744	1,514,725
売掛金	158,117	320,489
商品	18,859	5,467
仕掛品	15,834	9,300
原材料及び貯蔵品	8,705	9,190
その他	35,705	14,297
流動資産合計	1,741,967	1,873,471
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	55,760	59,760
工具、器具及び備品	492,375	586,224
車両運搬具	317	—
リース資産	223,544	230,240
減価償却累計額	△528,900	△586,614
有形固定資産合計	243,096	289,611
無形固定資産	6,105	19,347
投資その他の資産	77,559	70,435
固定資産合計	326,761	379,394
資産合計	2,068,728	2,252,866
負債の部		
流動負債		
買掛金	123	30
短期借入金	200,000	200,000
未払金	128,676	107,876
リース債務	9,864	11,061
未払法人税等	32,808	16,348
賞与引当金	77,074	55,394
その他	97,732	118,591
流動負債合計	546,279	509,301
固定負債		
リース債務	23,331	18,671
資産除去債務	12,540	12,557
固定負債合計	35,871	31,229
負債合計	582,151	540,531
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,600	1,484,660
資本剰余金	1,470,317	3,059
利益剰余金	△1,522,937	175,955
自己株式	△143	△167
株主資本合計	1,428,837	1,663,507
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△21,014	△26,980
その他の包括利益累計額合計	△21,014	△26,980
新株予約権	78,754	75,808
純資産合計	1,486,577	1,712,334
負債純資産合計	2,068,728	2,252,866

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
売上高	1,010,190	1,075,281
売上原価	282,144	340,852
売上総利益	728,045	734,429
販売費及び一般管理費	459,170	471,497
営業利益	268,874	262,931
営業外収益		
受取利息及び配当金	11	14
補助金収入	16,363	570
為替差益	18,074	2,438
その他	1,459	1,481
営業外収益合計	35,908	4,504
営業外費用		
支払利息	1,665	1,784
その他	352	—
営業外費用合計	2,018	1,784
経常利益	302,765	265,651
特別利益		
新株予約権戻入益	9,081	3,372
特別利益合計	9,081	3,372
税金等調整前四半期純利益	311,846	269,023
法人税、住民税及び事業税	44,208	31,534
法人税等調整額	△13,418	8,914
法人税等合計	30,790	40,448
四半期純利益	281,056	228,574
親会社株主に帰属する四半期純利益	281,056	228,574

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	281,056	228,574
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△13,135	△5,966
その他の包括利益合計	△13,135	△5,966
四半期包括利益	267,920	222,608
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	267,920	222,608
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(資本準備金の額の減少及び剰余金の処分について)

当社は2022年9月22日開催の第19期定時株主総会において、会社法第448条第1項の規定に基づき、「資本準備金の額の減少及び剰余金の処分」について決議し、2022年9月30日を効力発生日として、資本準備金1,470,317千円を減少し、同額をその他資本剰余金への振替を実施いたしました。

また、会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金1,470,317千円の繰越利益剰余金への振替を実施しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、利益剰余金は175,955千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		
	先端研究開発支援事業	ヘルスケア・ソリューション事業	計
売上高			
日本	880,627	2,706	883,334
アジアパシフィック	30,294	—	30,294
欧米	96,562	—	96,562
顧客との契約から生じる収益	1,007,483	2,706	1,010,190
外部顧客への売上高	1,007,483	2,706	1,010,190
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,007,483	2,706	1,010,190
セグメント利益又は損失(△)	358,589	△89,714	268,874

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		
	先端研究開発支援事業	ヘルスケア・ソリューション事業	計
売上高			
日本	858,513	29,520	888,033
アジアパシフィック	41,288	—	41,288
欧米	145,959	—	145,959
顧客との契約から生じる収益	1,045,761	29,520	1,075,281
外部顧客への売上高	1,045,761	29,520	1,075,281
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,045,761	29,520	1,075,281
セグメント利益又は損失(△)	373,253	△110,321	262,931

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 補足情報

生産、受注販売の状況

① 生産実績

生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	
	生産高 (千円)	前年同期比 (%)
先端研究開発支援事業	1,523	54.4
合計	1,523	54.4

(注) 1. 上記の金額は、先端研究開発支援事業のうち、試薬キットに係る部分を記載しております。
2. その他先端研究開発支援事業、ヘルスケア・ソリューション事業については、業務の性質上生産として把握することが困難であるため記載しておりません。

② 仕入実績

仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	
	仕入高 (千円)	前年同期比 (%)
先端研究開発支援事業	5,967	59.2
合計	5,967	59.2

(注) 1. 上記の金額は、先端研究開発支援事業のうち、限外ろ過フィルターに係る部分を記載しております。
2. その他先端研究開発支援事業、ヘルスケア・ソリューション事業については、業務の性質上仕入として把握することが困難であるため記載しておりません。

③ 受注実績

受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)			
	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
先端研究開発支援事業	939,202	90.8	289,477	124.3
ヘルスケア・ ソリューション事業	43,003	1,589.0	17,139	571.3
合計	982,206	94.7	306,616	130.0

④ 販売実績

販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	
	販売高 (千円)	前年同期比 (%)
先端研究開発支援事業	1,045,761	103.8
ヘルスケア・ ソリューション事業	29,520	1,090.8
合計	1,075,281	106.4